



12/2(月)から12/6(金)まで、佐川野小学校では人権教育強調週間として、人権について考える期間を設けました。今年度もたくさんの人権に関する取組を行いました。

今から74年前の12月10日に「世界人権宣言」が出されました。これは、世界中の人が、だれもが、人としての当たり前の生活が送れるように、お互いを大切にしようと決めた日です。日本でも、毎年12月4日から10日までの1週間を人権週間として、人権の大切さについて考えるイベントが行われています。佐川野小でも同じく、この時期にいろいろな活動を行いました。人権とは、「人が人らしく幸せに生きる権利」のことです。小学生用にやさしい言葉で言うと「自分を大切にするように、お友達や周りの人を大切にする」「みんなが楽しく、にこにこ笑顔で過ごせるようにする」ということです。一人一人の違いを認め合い、お友達の良いところを見つけ合って、自分も友達も大切にしてほしいと願っています。

キラリ☆カードの実践

友達のよいところを見つけて手紙で伝え合う活動を各クラスで行いました。人権を大切にするには、まずは身近な人の「よいところ」に目を向けてお互い思いやる気持ちを育てて行きたいものです。

人権の花

大切に
育てました



生活経験のまだ少ない小学生に、「人権」の大切さを理解してもらうのはとても難しいことだと思います。しかし、子どもたちの心の中にはすでに小さな人権感覚の芽が芽生えています。その小さな「芽生え」を大きく豊かに育てて行くために、学校ではきっかけ作りをしています。ご家庭でも身近なできごとをきっかけに「人権」について話し合っただけだとよいと思います。

人権カレンダー作品入賞

夏休みに募集した作品から、町最優秀賞に輝き、次年度カレンダーに選出された作品です。

【標語の部】

この思い とどけてみよう 言葉にのせて

6年 杉山碧唯さん

【ポスターの部】

4年 上竹琉輝さん

標語は各クラスで、皆さんの力作を掲示しています。

人権の花贈呈式 6月19日

町人権擁護委員の皆様から、「人権の花」を贈呈していただき、佐藤厚子様から、人権について分かりやすくお話を伺いました。子どもたちも、それぞれに人権について理解を深めることができました。



【親子の学び教室】人権講話「聞こえないってどんなこと」11/27

今年度は人権講話として、野木町社会福祉協議会様のお力添えにより、小山市聴覚障害者協会より松井智恵様をお招きしました。野木町在住の手話通訳ボランティア落合直美様の通訳にてお話いただきました。

【内容】

- ① DVD鑑賞…4人家族の中で、自分だけが耳が聞こえる小学生の女の子の物語を観ました。
- ② 講話「聞こえないってどんなこと？」
- ③ 質疑…聴覚障害者の方の生活や思いについて児童・保護者より多くの質問が出され、一つずつ丁寧に答えられました。
- ④ 手話講座…挨拶や簡単な会話について親子で使える言葉の手話を教わりました。
- ⑤ お礼…手話で「さんぽ」と「ありがとうの花」を歌いました。



児童・保護者の感想から・・・

(松井さんへのお手紙より)

- ・しゅわをおしえてくださってありがとうございます。まついさんとおちあいさんが手でおはなししているのがすごかったです。ぼくも、おかあさんと手でおはなしのれんしゅうしてみたいとおもいます。(1年生)
- ・先日は、ぼくたちに「聞こえないってどんなこと」かを教えてくださってありがとうございます。手話は耳の不自由な人にとってはとてもべんりなんだと気づきました。これから手話をれんしゅうして、松井さんとお話できるようになりたいと思います。(2年生)
- ・ぼくは、手話を通訳していた人がすごいと思いました。なぜかという、通訳するならたくさんの手話を知っていないとできないとおもったからです。いつかぼくも手話で会話をしてみたいです。(3年生)

(振り返りカードより抜粋)

- ・手話を覚えたり、手や動きで相手に伝えたりするのは難しいけれど、耳が聞こえなくて困っている人のために使いたいです。(4年生)
- ・聴覚障害者の方の生活が分かりました。災害などで避難所に耳の聞こえない方がいたら声を掛けて案内してあげたり、危ない目に合わないよう止めてあげたりもしたいです。(5年生)
- ・耳が聞こえないと、生活する上で不安もたくさんあるだろうに、それでも来てみんなとお話をしてくださって、すごいなあと思いました。もし、耳の聞こえない方に気づいたらできるだけ分かりやすいように伝えたいです。(6年生)

(保護者の感想より)

- ・自分の耳が聞こえなかったら・・・ととても怖くなりました。松井さんの表情がとても豊かで笑顔がとても素敵だなと感じました。放送や呼び掛けなどに気付かない時などは助けようね、と子どもと話しました。
- ・見た目では理解されにくい分、もしかしたら身近に困っている人がいるかもしれないということを頭に置き、少しでも誰かの役に立てるように生活していきたいと思いました。

たくさんの貴重な感想をお寄せいただき、ありがとうございました。